

サラマンダー

(ドラゴン族奉仕種族)

強さ：2レベルパーティにとって最後の強敵

全長6メートルはある、巨大なサンショウウオです。もともと大きかったサンショウウオ達が、マスタードラゴンの力によってさらに巨大な姿を与えられたのです。知性はなく、鈍重なため上位のドラゴンたちからは見下されていますが……とにかく巨大な肉体が生み出す破壊力は十分な脅威です。

巨大な体を維持するために大量の餌を必要とし、魚はもちろんのこと、人間やヘイタイカエル達まで食べてしまいます。水辺で頻発する事故といえは多くが彼らのせいであり、その大きな尾のひとつりは小船など簡単に壊してしまおうでしょう。

鈍重ながらも高位ドラゴン族には忠実なため、地下水路などで番兵として配置されていることもあります。

コンバットマトリクス

HP：60

2	サラマンダーはぼんやりとしている。日光に当たって体温を調節したいのだろうか？
3	大きな口を開き、喉の奥にある小さな……ミミズのような突起を震わせて見せる。きみたちが魚のように勝手に口に入ってくると思っているのかもしれない。
4	短い手足でふんばり、飛び掛る体勢を作っているようだ…… (次のラウンドの出目に+2)。
5	短い手で押しのけるように攻撃。5ダメージ。
6	大きな頭で突進。10ダメージ。
7	巨体ボディプレスをきみたちは何とか避けるが……大地が激しく振動し、転ばされる！ きみは2ラウンド行動不能。
8	細かい歯と毒の染み出す口に噛み付かれた！ 10ダメージ。
9	サラマンダーの巨体ボディプレス！ かるうじて下敷きは避けたものの……すべてに3ダメージ！
10	巨大な体が勢いをつけて突進してくる！ 12ダメージ！
11	サラマンダーの巨体ボディプレス！ すべてに5ダメージ！
12	全てを押し流すウォータープレス！ 18ダメージ！
13以上	巨大な口を開いてきみを飲み込んで来た！ サラマンダーが倒されるまで、きみは毎ラウンド5ダメージを受ける！ (きみは体内からサラマンダーを攻撃できる)

2013年9月体験会特典ペーパー(オニオンワークス)

モンスターデザイン：神谷涼 様

グレムリン

(デーモン族工兵)

強さ：1レベルパーティのライバル

翼のないコウモリのような体をしたデーモンです。目は保護ゴーグルで覆われ、腰や脇に多数の工具を取り付けています。

グレムリンは“テクノロジー”の末端技術者です。より上位のデーモンによる実験や研究を補助したり、様々な改造デーモンらに付き従いメンテナンスや支援を行います。

彼ら自身は決して強力な戦力でないものの、デーモン軍団の機械化兵団では重要な役割を果たしているのです。兵団が動くとき、戦闘要員と同じかそれ以上のグレムリンが彼らの足元を忙しく行き来しているのがわかるでしょう。

性質も臆病で、戦いではさしたる脅威となりませんが……だからといって軽く見るべきではありません。臆病ながらも野心的なグレムリンは、恐るべき兵器実験を僻地の農村などで行うといえます。

コンバットマトリクス

HP：40

2	「こここの新開発ゴーグルの機能を使えば！」しかしゴーグルが爆発した！ 自身に5ダメージ。
3	「ヒャ〜〜〜」慌てて逃げ出そうとしたグレムリンは勝手に壁へ激突！ 自身に5ダメージ。
4	「オレサマはお前とはオツムの出来が違うんだぜ」苦労話、自慢話、陰謀語りが始まる。
5	ヤケになって工具を投げつけてくる！ けっこう痛い…… 2ダメージ。
6	よくわからない装置を投げつけて来た……装置はぶつかると爆発する！ 3ダメージ。
7	工具を振り回しながら突進してきた！ 3ダメージ。
8	奇妙な装置を高笑いしながら起動させようとしているが……何も起こらない。
9	きみの足元で突然の小さな爆発！ 「ケケケケッ！」 火薬の罾が仕掛けられていたのだ。4ダメージ。
10	グレムリンの手の中にある小さな装置から電撃がほとばしる！ 5ダメージ。
11	怪しく光るピンを床に投げつける……毒ガスだ！ 5ダメージ。
12	とっておきの爆弾を投げつけてきた！ 10ダメージ！
13以上	グレムリンの手の中で工具が唸る！ 鎧や防具が分解されてバラバラにされてしまった！ この戦闘が終わるまで、きみはあらゆるダメージを1点追加で受ける。